

対策協議会、徳島で発足

トラック巻き込み事故防ぐ

徳島県で23日、トラックによる巻き込み事故を防ぐための新団体が発足した。食品充填機メーカーの四国化工機（同県北島町）が県内の運送会社などに呼びかけ、同日付

で「巻き込み事故対策協議会」を設立した。人工知能（AI）を活用した警報装置の普及や学校向

けの出前授業などに取り組む。

事故を防ぐ装置を開発するエルピス（東京・千代田）や運送会社など計15法人が加盟した。オプサーバーとして県や県トラック協会なども参加した。

植田会長は設立総会で、2021年に県内で起きた小学生の死亡事故に触れ、「自分にも小さな子どもが3人いる。痛ましい事故をこれ以上起こさないために協力をお願いしたい」と述べた。

発起人である四国化工機の植田俊介取締役が会長に就き、事務局も同社内に設置した。AIカメラ精度を高めるためのデータ収集でも連携する。